

体験版

■ Photoshop

■ Illustrator

■ InDesign

■ HTML+CSS

目次

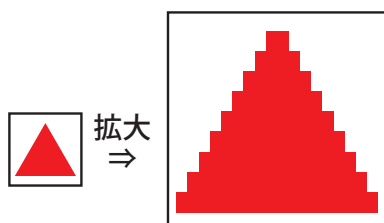
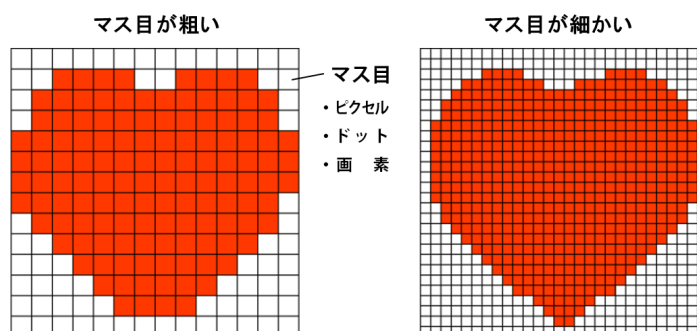
1	Photoshop の概要	1
1-1.	Photoshop の概要	1
1-2.	作業の流れ	1
1-3.	Photoshop の起動と画面構成	2
1-4.	ツールパネル（ツールバー）	2
1-5.	ツールオプションバーとパネル	3
2	基本操作	4
2-1.	既存ファイルを開く	4
2-2.	画面のズーム	4
2-3.	画面のスクロール	5

Adobe Photoshop 入門

1 Photoshop の概要

1-1. Photoshop の概要

Photoshop は、ペイント系グラフィックソフトの 1 つです。
 画像を描画・管理するエリアをドット（点）の集合体で管理します。
 ドットが小さいほど、よりキメ細やかに美しい画像を描画することができます。



ドットで構成されるグラフィックは、後からサイズを拡大すると画像が粗くなるため、拡大にはあまり向いていません。

名前の通り写真を扱うことが中心で、写真画像の色の補正・修正加工・合成を行うことができます。

1-2. 作業の流れ

色の補正、修正加工、合成などの必要な処理を行った後、保存します。
 保存は、DTP 用の画像と Web 用の画像で方法が異なります。
 用途に応じた保存を行った後、他のレイアウトソフトなどで利用します。

【参考】

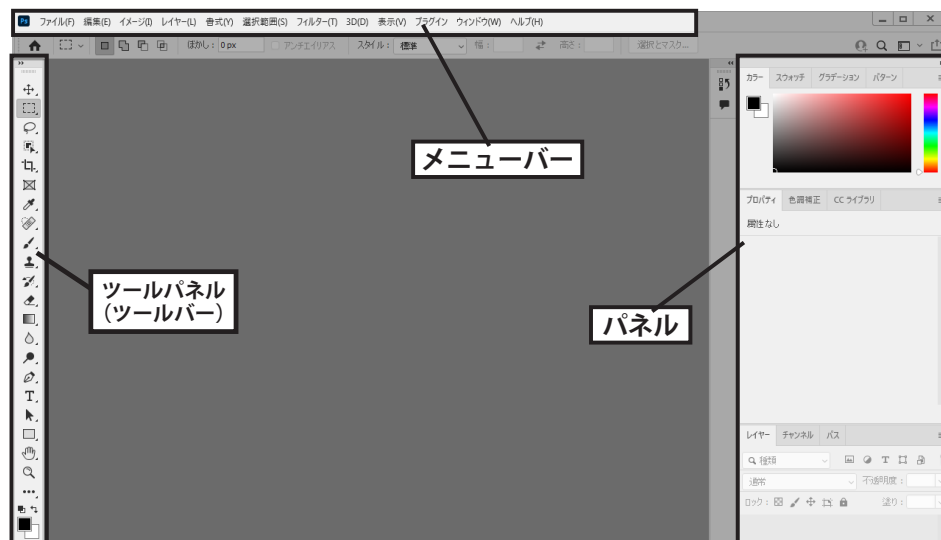
DTP：デスクトップパブリッシング
 （机上印刷）
 デスクトッププリプレス
 （印刷前工程）



1-3. Photoshop の起動と画面構成

Macintosh は「アプリケーション」フォルダーから、Windows は「スタート」メニューから、「Adobe Photoshop」を起動します。

画面上部に「メニューバー」、左側に「ツールパネル」(ツールバー)、右側には各種「パネル」が表示されます。



1-4. ツールパネル (ツールバー)

画面左側にある縦長のバーを「ツールパネル」(ツールバー)と呼びます。ツールパネルは、Photoshop 上で画像を修整したり、加工するためのツール (道具) が格納されています。使用目的に合わせてクリックで持ち替えて、作業をしていきます。

※ツールの中には右下に小さな三角マークの表示があるツールがあり、これらのツール上をプレス (長押し) もしくは、右クリックすると、その下に隠れているツールを選択できます。



【参考】(インターフェイス)

初期設定では、暗い画面設定となっております。
「Photoshop」メニュー (Mac) 「編集」メニュー (Win) → 「環境設定」→ 「インターフェイス」で変更可能です。本テキストでは明るめに設定しております。



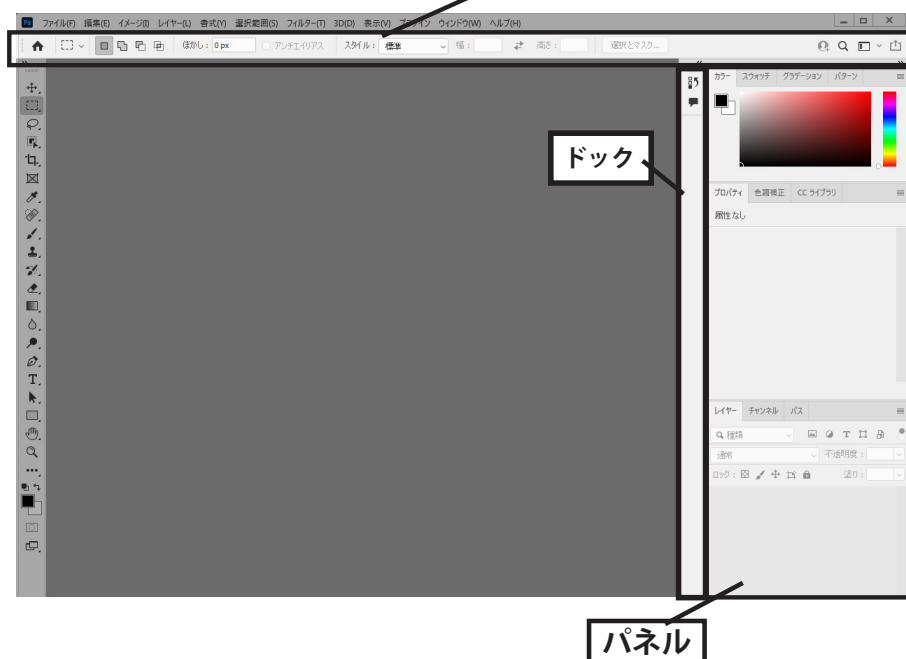
1-5. ツールオプションバーとパネル

メニューバーの下には選んだツールの細かい設定を行う「ツールオプションバー」があります。

画面右側に並んでいる「パネル」にはツールを補助する機能があります。複数のパネルがひとまとまりになっているものがあり、タブをクリックして切り替えて利用します。

また、画面内には表示されていないパネルを開くためには、画面上部の「ウインドウ」メニューから該当するパネル名を選択して開くことができます。

ツールオプションバー




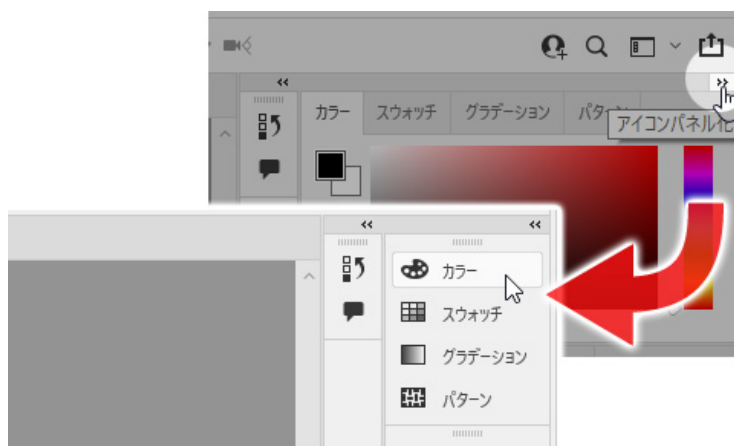
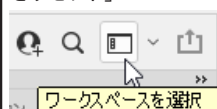
不要なパネルを閉じるためには、パネルタブをドラッグして独立させます。上部のクローズボックスをクリックすることで閉じられます。

「アイコンパネル化」をクリックする事でパネルが簡易表示され、画面を広く使用できます。簡易表示されたアイコンをクリックするとパネルが展開します。

【参考】（パネルのリセット）

「ウインドウ」メニュー→「ワークスペース」→「初期設定をリセット」

または、「ツールオプションバー」の  アイコンをクリックして「初期設定をリセット」



2 基本操作

2-1. 既存ファイルを開く

画像ファイルを開くには、以下の手順で行います。

■作業手順（ファイルを開く）

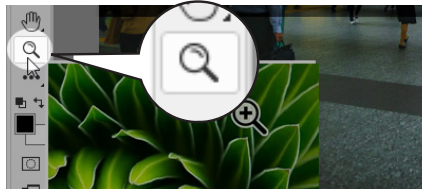
- 1) 「ファイル」メニュー→「開く ...」を選択します。
- 2) 「開く」ダイアログでファイルを選択し、「開く」ボタンをクリック
もしくは、ファイル名をダブルクリックします。

2-2. 画面のズーム

画像は、画面内に全体が表示される程度の倍率で表示されます。
現在開いている画像の情報は、開いた画像のタブで確認できます。画像のファイル名、現在の表示倍率、カラーモードが表示されます。



細部を大きく表示するには、画面をズームアップします。
ツールパネルから「ズームツール」をクリックします。

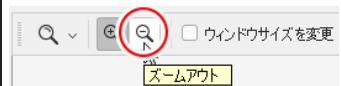


【ズームアップ（ズームイン）】

画面内のズームアップしたい位置をクリックすると、クリックした位置を中心に画面がズームアップされます。

【参考】（ズームアウト）

「ツールオプションバー」内で、ズームアウトに切換えることができます。



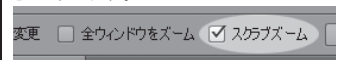
【ズームアウト】

画面をズームアウトするには「option」キー（Mac）「Alt」キー（Win）を押しながら、画面内をクリックします。クリックした位置を中心に画面がズームアウトされていきます。



【参考】（スクラブズーム）

「ツールオプションバー」内の「スクラブズーム」のチェックで切換えることができます。



【スクラブズーム】

右方向にドラッグすると拡大表示、左方向にドラッグすると縮小表示となります。

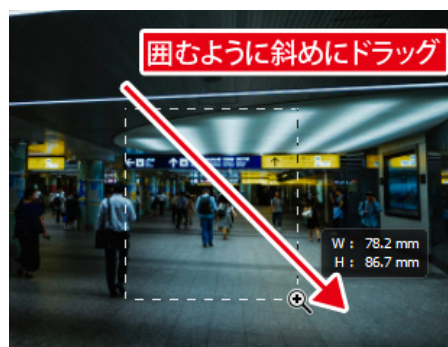


【参考】(ズームアップ、ズームアウト)

マウスボタンをプレス(長押し)すると、画面内の「ズームツール」を中心にズームアップしていきます。
「option」キー (Mac) 「Alt」キー (Win) を押しながら、マウスボタンをプレスすると、ズームアウトします。

【ズームアップ】(スクラブズーム無効時)

ツールオプションバー内、「スクラブズーム」のチェックを外してズームアップしたい領域をドラッグで囲むと、一度で適した拡大率になります。



※ツールパネル内の「ズームツール」をダブルクリックすると、「100%」表示になります。

2-3. 画面のスクロール

表示領域からはみ出した部分を表示するには画面をスクロールします。画面右部と下部に表示されているスクロールバーは、細かい移動を行いたい場合、「手のひらツール」を使います。

【画面のスクロール】(手のひらツール)

ツールパネルから「手のひらツール」をクリックします。



画面内をドラッグするとスクロールします。



【画面のスクロール】(「スペース」キー)

「手のひらツール」以外のツールを指定している場合、キーボードの「スペースキー」を押しながらドラッグすることで、画面のスクロールを行うことができます。

※ツールパネル内の「手のひらツール」をダブルクリックすると、設定されているファイルサイズの全体を表示することができます。